



独立 協力 技術

学校教育目標 「豊かな人間性と自主的精神に満ちた生徒を育てる」



令和5年1月20日号



(玄関正面にある坪庭の雪景色)



感謝とゴールの3学期に

令和4年度3学期が始まりました。今年度重点目標「トライアル&エラー ～自己をみつめ、他者と協働し、よりよく生きようとする伯太中生徒を育てる～」のもと、自己調整すること・適切に援助希求すること・他者と合意を形成すること・思いや考えを他者に伝えることを中心に、今学期も「自分で」試行錯誤し、社会で通用する力をつけていきましょう。

始業式では、2学期の重点項目「学び合う集団・心の居場所となる集団づくり」に向けた努力が全校でできたことを振り返りました。また、1学期末に共有した課題「予習・復習を含む家庭学習時間」を再確認しました。



3学期に心にとめて生活したいことについて、キーワードを示しながらみなさんに話しましたが、覚えていますか。今年度伯太中で生活する中で出会った人、ともに成長する仲間への**感謝**の気持ちを常にもつこと、今年度の最終**ゴールは3月**であるということ意識し、約2ヶ月のうちに試行回数を増やし、伸ばせるだけ自分の力を伸ばして来年度に備えることです。伯太中みんなで「ありがとうマインド」をもって日々懸命に努力し、3月には互いの頑張りを認め合い成長をともに喜ぶことをめざしていきましょう。

ありがとうマインドの大切さ

「ありがとうマインド」をもつことの良さが、心理学、脳科学の分野で研究されています。

ニューヨーク州立大学のブラウン准教授は、ありがとうマインドと健康は相関関係があるとしています。他者のために行動しようとする人は、他者と良好な人間関係を築け、ストレスを感じにくくなり、テロメアという、寿命に関係する、細胞の核の中にある部分が長くなるのです。

カリフォルニア大学のエモンズ教授は、「感謝をする人ほど、免疫力が高く、前向きで生きがいや喜びを感じやすく、幸福感も高い。」と述べています。

エモンズ教授は、感謝する力を高める方法を5つ発表しています。(参考文献『Thanks!』)

1. ありがたかったことを振り返り、書く
2. 感謝すべきことを3つ挙げる
3. 今より悪かったときのことを思い出す
4. 短期間、好きなことをやってみる
5. 感謝することへの誓いの言葉を目につくところに置く

THANK YOU



変化が激しく予測困難な時代を生き抜くためには、人を思いやる気持ちをもち、感謝を伝え、他者と協働して社会を創る必要があると言われています。明るい未来は、小さな「ありがとう」から始まるかもしれません。



自己をみつめ、他者と協働し、よりよく生きようとする伯太中生徒を育てる

今年度の重点目標は達成できたか、学校運営はどうだったかを自己評価するために、12月に全校生徒・保護者の皆様を対象としたアンケートを実施しました。ご多用のところ回答いただいた皆様、ありがとうございました。いただいた貴重なご意見を参考にし、今後の教育活動の充実・発展を図ってまいります。
なお、以下の結果については、設問に対する肯定的な回答の割合を示しています。下線の設問は保護者対象の項目です。

I 今年度の重点 「自ら考え、判断し、行動する生徒の育成」 ～自己を調整する力～について

- ◎社会のルールを守る態度が身に付いている **95.7%**
- ◎生活ノートへの反省・感想の記入 **92.5%**
- ◎道徳の授業における自己と関連づけた思考 **92.4%**
- ◎授業で自分の学びの振り返りをしている **89.7%**
- 自分の食事・運動・睡眠に気をつけている **82.2%**
- ▲電子メディア使用時間に気をつけている **61.8%**
- ▲計画を立てて学習している **62.7%**
- ▲家庭では、子どもが決めた役割がある **58.7%**
- ▲家庭でのスマホ等の通信機器の利用環境
利用時間を決めている **41.3%**
利用場所を決めている **32.6%**
時間・場所以外に利用の仕方を決めている **26.1%**
保護者が利用状況を確認している **43.5%**
フィルタリングをかけている **37.0%**
スマホ等通信機器を利用させていない **4.3%**
- ▲電子メディア使用について、家の人と決めたルールやきまりがある **50.9%**



II 今年度の重点 「多様な他者と協働する生徒の育成」 ～多様な他者と協働する力～について

- ◎学校や地域であいさつをしている **99.1%**
- ◎伯太中は、良い雰囲気だと思う **97.8%**
- ◎家庭で子どもの話をしっかりと聞いている **97.8%**
- ◎授業などで他者の意見や考えを聞いている **96.3%**
- ◎子どもは、中学校に通うことが楽しそうだ **91.3%**
- ◎道徳の授業における多面的・多角的な思考 **90.6%**
- ◎伯太中の教育活動に満足している **89.2%**
- ◎子どもは、困ったとき家の人に相談する **89.1%**
- ▲わからないことや困ったことがあったとき、先生に報告・連絡・相談できた **66.6%**



III 今年度の重点 「豊かな発想をもち、創意工夫する生徒の育成」 ～言語や情報を使いこなす力～について

- 授業などで自分の意見や質問を伝えている **70.6%**
- ▲予習または復習をしている
予習をしている **6.8%** 復習をしている **64.7%**
予習も復習もしている **12.7%**
予習も復習もしていない **15.7%**
- ▲平日の学校以外での学習時間
3～4時間 **2.0%** 2～3時間 **12.7%**
1～2時間 **60.8%** 1時間より少ない **24.5%**
- ▲休日の学校以外での学習時間
4時間より多い **2.0%**
3～4時間 **11.8%** 2～3時間 **29.4%**
1～2時間 **34.3%** 1時間より少ない **22.5%**
- ▲子どもには家庭学習の習慣が身に付いている **58.7%**
- ▲子どもは、家庭でも読書をしている **52.2%**



伯太中の「特色ある教育活動」として保護者の方が挙げられた活動

あいさつ運動 マイ醤油づくり
チューリップ球根掘り チューリップテスト
伯中音頭 Chromebook の活用
職場体験学習 地域に密着した課外授業
地域の特色を学ぶ授業



その他の項目

【部活動の頻度について】

適切 60.9% 少ない 17.4% 多い 4.3%

【部活動の時間について】

適切 66.1% 短い 22.5% 長い 11.4%

適切 23.9% 短い 6.5% 長い 4.3%

【学校からのたよりやホームページについて】

たよりは見ている 78.3% HPは見ている 4.3%

たよりもHPも見ている 15.2%

【学校の様子について】

行事や授業参観等を通して様子がわかった 87.0%

【学校の施設・設備について】

施設・設備は整っている 73.9%

- ▲体育館横の道が暗すぎて危ない
- ▲トイレが汚い・臭い・流れにくい・洋式が少ない
- ▲老朽化が進んでいる ▲雨漏り
- ▲校庭からのボールが車に当たらないよう、鉄棒側から部室側のところにフェンスが欲しい



【本校 PTA の組織や活動について】

本校 PTA の組織や活動は適切である 88.7%

- ▲コロナのせいにして、すべての活動に活力がなくなったと感じる
- ▲コロナだからと言って子どもの為にも何も出来ない
- ▲総会以外に何も参加していない。また総会も全家庭が参加していなかった
- ▲組織については、段々と少子化時代で、各小学校単位で役員等を組まれると、子どもの人数によって負担がかかる



【ボランティアとしての協力について】

時間があれば、地域ボランティアとして伯太中の教育活動に協力したいと思う 47.8%

(提供可能な技術等)

- 農業体験
- 卒業生の広報活動補助
- 草刈り
- 部活動のお手伝い
- プログラミング
- 園芸
- 掃除



【伯太中の教育活動に満足している理由】



- 地域の様々な職場へ行って色々なことを学んだりしているから
- 先生方がよく頑張っておられ、細かく様子も知らせてもらっており、部活も熱心にもらっているから
- 毎日忙しい中で、子ども達のために色々考えてくださっていることに感謝している
- 先生方が細やかな配慮をしてくださる
- 進路について生徒にも保護者にもしっかりと説明をされており、信頼できる先生方と共に準備を進めていけると感じているから
- 生徒の主体性、自主性を尊重して頂いていると思っている
- 先生と生徒との関係が良好だと思うから
- 1人1人をよく見て下さっていると思う
- リモート授業等対応が早いところ
- 協調性があるように感じる
- 子供が学校行事などとても楽しんでいる上に、学業の方もよく頑張っているため
- テスト前は部活を休止して学習時間の確保を行っている
- いじめなどないから
- 校区、安来市 地元内での活動の場がある
- 子どもが学校が楽しいと言っているため



よりよい学校運営に向けて

施設・設備の改善要望につきましては、引き続き教育委員会に相談してまいります。部室棟横の電灯設置は今学期中、業者による1Fトイレの清掃は今月中に早速行います。雨漏りの状況については、1学期中に現地確認をしていただき、改善について検討していただいているところです。

部活動運営、生徒の学習に向かう意欲の向上、授業改善、教員の言葉遣い、教員と保護者のコミュニケーションの場の設定、服装規定の見直しについては、校内組織を活用しながら組織的に検討を重ね改善を図ってまいります。

今後も、子どもたちの成長と地域社会の発展のために、生徒・保護者・地域の皆様の意見を取り入れながら、よりよい学校づくりに努めていきたいと思っております。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

リーダーとともに

生徒会リーダー研修（1月6日）では、「リーダーに求める力」について説明した後、2つのワークを行いました。非言語コミュニケーション活動と、伯太中の良いところPRです。

PRでは、6つのグループに分かれて構想を練り、実際に1分程度参加者全員の前でやってみてもらいました。あいさつやお作文や寸劇など、どのグループも短時間の準備でしたが工夫して発表できました。PRされた伯太中の良さは次の要素です。

人とのつながり、仲の良さ、
チームワーク、団結力
あいさつ、礼儀正しさ
一人ひとりの行動力、
チャレンジする力



これらの「伯太中の良さ」を今後も大切にし、新リーダーとともに令和5年度も生徒会を盛り上げていきましょう。



「あいさつの重要性」

「社会を明るくする運動作文コンテスト」で、今年度安来地区保護司会会長賞を受賞した神谷笑花さんの作文については、保護司会の広報誌や校内の掲示で読んだ人が多いと思います。生徒会リーダー研修で「伯太中の良さ」として多くの人が挙げていた、「あいさつ」を今後も大切に、私たちのあいさつで明るく平和な社会を創っていきましょう。



制服に関するアンケート

子どもたちを取り巻く環境の変化に対応し、伯太中の教育活動の充実を図るため、令和6年度からの新制服導入に向けた検討を行っています。

前号のたよりでは第1回制服検討委員会の発足についてお知らせしましたが、ここでは先月実施した、伯太中校区全児童生徒を対象としたアンケート結果の概要をお知らせします。

【現在の制服について「良くない」点TOP3】

1. 暑さ・寒さへの対応
2. 洗濯・手入れのしやすさ
3. 着やすさ・脱ぎやすさ

【制服について重視する点TOP3】

1. 気候への変化の対応
2. 動きやすさ
3. 着やすさ

【希望する新制服のスタイル】

- ◆中学生…ブレザー型 56.6% スーツ型 12.1%
どちらでもよい 31.3%
- ◆小学生…ブレザー型 52.1% スーツ型 17.9%
どちらでもよい 29.9%

小学生児童のみなさんからも、新制服についての具体的な要望が寄せられました。検討委員会では、結果を参考にして新制服のイメージを複数案固め、メーカーへの提案依頼を行う予定にしています。



誕生日ってなあに？

たった1つしかない、かけがえのない自他の生命を尊重する気持ちと、自分自身がかけがえのない存在であることに気づき、社会の中でよりよい人間関係を築きながら生きていこうとする気持ちを育てることを目的として、島根県助産師会のバースデープロジェクトチームの方を招き、1年生を対象とした「いのちの楽習」を行いました。



赤ちゃん誕生の場面では、自然と拍手が沸き起こっていました。

（内容）

- ☆神秘的な「いのち」と、力強くみなぎる生命力
- ☆守られ育まれていく親子の絆
- ☆おへその秘密
- ☆「うぶごえ」を聞いた時の、感動と素晴らしさ
- ☆あなたが生まれてみんなが喜んだ、大切ないのち
- ☆受け継がれていく「いのち」の繋がり など



妊婦体験や赤ちゃん（人形）抱っこ体験もあり、わかりやすく、「心で感じる」ことのできる時間となりました。ご指導いただいた助産師会の皆様、ありがとうございました。